

CPD 認定

第 11 回事業 中部支部設備女子会 & 近畿支部設備女子会 コラボ企画

『中日ビル地下・地域熱供給設備』

『見学会』&『交流会』

報告書

【第 11 回見学会報告】

日時：2025 年 5 月 30 日(金) 14:30～17:00(受付開始 14:00 から)

会場：名古屋熱供給センター〔名古屋市中区栄 4-1-1 中日ビル地下 4 階〕

主催：(一社)建築設備技術者協会中部支部設備女子会

協同：近畿支部設備女子会

後援：(順不同)

- ・(公社)空気調和・衛生工学会中部支部
- ・(一社)日本空調衛生工事業協会東海支部
- ・(一社)電気設備学会中部支部
- ・(一社)日本電設工業協会東海支部
- ・(一社)日本設備設計事務所協会連合会東海ブロック協議会
- ・(一社)日本建築学会東海支部

協力：株式会社シーテック

取材新聞社名：中部経済新聞社、建通新聞社(以上2紙、順不同)

参加者数：37 名(女性 31 名 男性 6 名)

参加者所属企業名：朝日機器エンジニアリング、三浦工業、テクノ菱和、大冷工業、新日本空調、新菱冷熱工業、UR リンケージ、安井建築設計、川本製作所、トーエネック、ゼネラルヒートポンプ、シーテック、黒田設備設計、オーエヌ工業、高砂熱学工業、大成建設、日比谷総合設備、藤原工業、大林組、朝日工業社、エーティーデザイン、日立インダストリアルプロダクツ(以上 22 社、順不同)

〔プログラム〕

《受付》(一社)建築設備技術者協会中部支部設備女子会運営委員 鈴木法子【日比谷総合設備(株)】

(一社)建築設備技術者協会中部支部設備女子会運営委員 大山智子【大成建設(株)】

《司会》(一社)建築設備技術者協会中部支部設備女子会 代表 藤原永知子【藤原工業(株)】

《写真》(一社)建築設備技術者協会中部支部設備女子会運営委員 中野由美【(株)大林組】

1. 開会 挨拶

(一社)建築設備技術者協会中部支部支部長 黒田慎二【(株)黒田設備設計】

2. 女子会挨拶

近畿支部設備女子会 代表 堤美智子【高砂熱学工業(株)】

3. 施設概要説明

講師：所長 中澤剛様【(株)シーテック 熱供給事業部名古屋熱供給センター】

4. 施設見学

引率：川崎大樹様【(株)シーテック 熱供給事業部名古屋熱供給センター】

協力：水野孔史様【(株)シーテック 熱供給事業部 部長】

5. 質疑応答

6. 建築設備士資格について説明、(一社)建築設備技術者協会の活動紹介

(一社)建築設備技術者協会中部支部設備女子会運営委員 安田勝彦【大成建設(株)】

7. 閉会 挨拶

(一社)建築設備技術者協会中部支部設備女子会運営委員 内海徹【(株)大林組】

【第13回交流会報告】

日時：2025年5月30日(金) 17:30～19:30

会場：うまい魚が食べたくて 中日ビル店〔中日ビル3階〕

主催：中部支部設備女子会 & 近畿支部設備女子会

協力：(一社)建築設備技術者協会中部支部、株式会社トーエネック

会費：4,000円(税込)

参加者数：31名(女性25名 男性6名)

〔プログラム〕

《司会》中部支部設備女子会運営委員 鈴木法子【日比谷総合設備(株)】

1. 開会あいさつ 中部支部設備女子会運営委員 大山智子【大成建設(株)】

2. 乾杯 (株)シーテック 熱供給事業部 部長 水野孔史様

3. 歓談 ご来賓 (株)シーテック 熱供給事業部名古屋熱供給センター 所長 中澤剛様

(株)シーテック 熱供給事業部名古屋熱供給センター 川崎大樹様

4. 閉会あいさつ 中部支部設備女子会 代表 藤原永知子【藤原工業(株)】

【見学会・交流会開催概要】

今回の見学会・交流会は、他支部の設備女子会とコラボで開催するという初めての事業であった。今までも、全国から参加者が中部に集まっていたが、コラボ企画という形を取るの新しい取り組みであった。この支部間交流事業の企画は、近畿支部設備女子会の堤美智子代表(高砂熱学工業)から声をかけていただいたことがきっかけである。まずは地域的に隣接している『中部 & 近畿』の交流を狙ってみた。波及効果を考え、第11回事業にして、初めて申込受付開始日時を記載した案内を出した。開催日2ヶ月以上前の申込受付開始日であるにも関わらず、わずか1日半で満員に達し、その反響には非常に驚いた。参加してもらえなかったキャンセル待ちの多数の方には心苦しい思いであったが、見学者人数については、設備女子の応援ということで、(株)シーテック名古屋熱供給センター様に過分なご配慮を頂戴したことを申し添えておく。見学会は、栄のランドマークである中日ビル地下にある名古屋栄四丁目地域熱供給プラント(名古屋熱供給センター)の地域冷暖房設備(DHC)で実施した。中日ビル・栄サンシティービル・栄森の地下街・名鉄瀬戸線栄町駅に熱供給を行っている施設である。中澤所長より最新の熱供給プラント施設概要をはじめ、中日ビル建て替え工事期間中の仮設プラント等の説明をしていただいた後、地下4階の監視室、地下5階の特高変圧器、貫流ボイラー、ターボ冷凍機、7階屋上の冷却塔を2班に分かれて見学に回った。取り扱いが容易で、ボイラー取扱資格が必要ではない小型貫流ボイラーの使用、需要変動に迅速に対応できる電気で稼働する冷凍機、大型冷却塔の周りに設置された防音壁等、各所での設備面での工夫を中澤所長、川崎様から実際に現在稼働している大型機器の前でそれぞれに説明をしていただいた。見学者からも活発に質問が出て、専門的なことにも詳しくお答えいただいた。大雨の予報が出ていたので、屋上見学ができないかと心配したが、天気予報が外れ、予定通りのルートで見学ができたことは幸運であった。交流会では、講師の中澤所長、川崎様、サポートしていただいた水野部長にもご来賓としてご出席いただき、引き続き設備概要について個別に詳しくお聞きできる機会を持った。生き生きと有益で技術的な情報交換をしたり、ワイワイと他愛の無い会話をしたりして、勤務している企業や職種が違って、設備業界で働いているという共通点だけでたくさんの女性が集まり、ゆるくつながり、少し元気になって「明日の仕事もがんばれるかも・・・」という場所づくりの役割を支部の設備女子会が担っているのではないかと今回の申し込みフィーバーで改めて認識させられた。今回は『中部 & 近畿支部』のコラボ企画であったが、『中国・四国支部設備女子会運営委員』の方のご参加もあり、『近畿』を挟んで3支部の大変活発な支部間交流となったことはとても嬉しかった。一昨年度は、中部支部運営委員が東北支部に出向いて事業支援をした。今後、全国にある各支部設備女子会から発信の機会がもっともっと増えると、設備女子会が名実ともに全国組織となり得るのではないかなと思う。今回の全国初の支部コラボ事業をきっかけに、設備女子会の支部間交流企画事業が全国各地に広がっていくことを願う。

以上





建通新聞 中部

建築設備技術者協会中部 設備女子会コラボ企画

中日ビル地下で地域熱設備見学



建築設備技術者協会中部支部設備女子会は5月30日、近畿支部設備女子会とのコラボ企画で中日ビルの地下にある地域熱供給設備見学会を開いた。今回11回目の見学会は、わずか1日半で定員に達した、まさに「プラチナチケット」。

中日ビルや隣接する栄サンシティビル、森の地下街、名鉄瀬戸線栄町駅の延べ計約15.4万平方メートルに地域冷暖房を供給するシーテック(名古屋市緑区)のプラント設備は普段見られないだけに、参加者は熱心に設備を見て回っていた。

中部経済新聞

名古屋

中日ビル地下施設で
地域熱供給設備見学

建築設備技術者協会

中部支部設備女子会

一般社団法人建築設備技術者協会中部支部(名古屋市中)の設備女子会は5月30日、名古屋市中区の中日ビルで見学会を行った。設計会社や設備工事会社など19社約40人が参加した。

見学したのは、ビルの地下にある名古屋熱供給セン

ター。同施設は「地域供給熱」と呼ばれる機能を担う。空調などに用いる冷水・蒸気などをまとめてつくり、

導管を通じて中日ビルを含む複数の建物に供給するプラント。個別の建物がエネルギー源を別々に設置するのに比べてスケールメリットが生まれ、エネルギーの効率運用ができる。

同施設を運用するシートック(本社名古屋市中)の担当者、施設紹介や見学を引率した。

同協会は、建築設備士や設備設計1級建築士らで構成する団体。設備女子会は2016年に発足し、女性の資格保持者を増やすことなどを目的に、研修会や親睦を深める活動を展開している。見学会は11回目。今回、近畿支部女子会とともに実施した。



見学会の様子